

補助事業番号 21-36

補助事業名 平成 21 年度青少年の創造性開発及び知的財産に関する普及啓発等補助事業

補助事業者名 社団法人 発明協会

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

知的創造の担い手となる青少年を対象とした創意工夫活動の支援及び国際交流を行うとともに、中小・ベンチャー企業を支援する知的財産専門人材の育成等を行い、もって機械工業の振興に寄与する。

### (2) 実施内容

#### ① 青少年等の創造性開発育成事業

##### i) 創造性開発育成に関する取組み

[全国の少年少女発明クラブにおいて創意工夫活動を実施](#)

##### ii) 少年少女発明クラブ全国会議の開催

###### a) [第 65 回少年少女発明クラブ全国会議](#)

少年少女発明クラブ指導員他関係者 193 名が参加し、和歌山県和歌山市にて開催。主な内容は、全体会議、新たなる活動取組み等の発表。



##### iii) [2009 全国少年少女発明クラブ創作展の開催](#)

和歌山県和歌山市の和歌山ビックホエールにおいて、全国の少年少女発明クラブから寄せられた作品 73 点を展示し、少年少女発明クラブを紹介した。会期中、当協会総裁常陸宮殿下同妃殿下の御臨場を賜った。



a) ブロック別研修会

少年少女発明クラブ指導員の資質向上を目的とするブロック別研修会を全国7箇所において開催した。

b) 都道府県別研修会

少年少女発明クラブ指導員の資質向上を目的とする都道府県別研修会を全国9箇所において開催した。



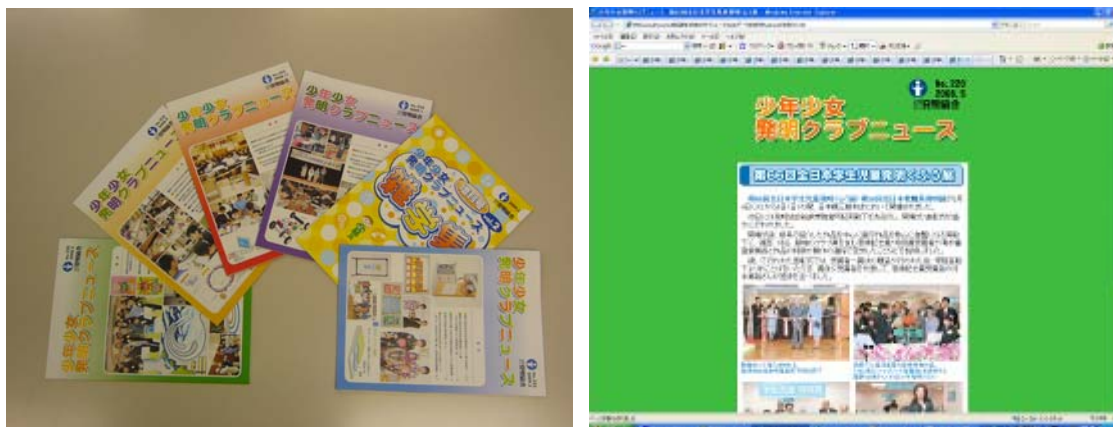
v) 地域アイデア創作教室

地元の課題に子供たちが取り組む地域アイデア創作教室を全国3箇所において実施した。



vi) 広報活動

「少年少女発明クラブニュース」及び「少年少女発明クラブニュースWEB版」をそれぞれ6回発行した。また、毎日小学生新聞に少年少女発明クラブを紹介する広告を掲載した。



2 予想される効果

創造性豊かな人材の育成を通じて近い将来における産業の担い手を育成することは、知的財産立国の実現に向けた基盤整備に大きく寄与し、今後、我が国機械工業の振興に資するものと期待できる。

3 本事業により作成した印刷物

少年少女発明クラブニュース No. 226～231

少年少女発明クラブ東北ブロック会議資料

第65回少年少女発明クラブ全国会議冊子資料

2009 全国少年少女発明クラブ創作展作品一覧

少年少女発明クラブ活動報告書

4 事業内容についての問い合わせ

団体名： 社団法人 発明協会（ハツメイキョウカイ）

住所： 〒105-0001

東京都港区虎ノ門2-9-14

代表者名： 会長 豊田 章一郎（トヨダ ショウイチロウ）

担当部署： 総務グループ総務チーム（ソウムグループソウムチーム）

担当者名： 主事 寺倉 琢也（テラクラ タクヤ）

電話番号： 03-3502-5421

FAX 番号： 03-3504-1480

E-mail: [t-terakura@jiii.or.jp](mailto:t-terakura@jiii.or.jp)

U R L: <http://www.jiii.or.jp/>